東北コットン
TOHOKU
COTTON
PROJECT

希望を乗せて育った新たな姿で旅立ちます。

東日本大震災の津波により
稲作などが困難になった水田に、
綿を植え、震災復興を目指す
「東北コットンプロジェクト」。
昨年一年の取り組みは、収穫となり、
今、製品という姿で私たちの目の前に。
一人でも多くの方に感じてほしい、
温かい肌触りが魅力です。

昨年は初の綿栽培へのチャレンジでさまざまな困難にもぶつかりましたが、さすがは農業の専門家とあって、それを糧に自信を見せてくれました。「昨年はいろいろ失敗もありましたが、それによって綿がどう成長し、どの時期に何をすれば良いか、ノウハウはつかみました。今年は、作付面積も増やしましたし、絶対に成功させたいですね」(「仙台東部地域綿の花生産組合」組合長の赤坂芳則さん)

JALグループからもたくさんのスタッフが今年の種まきに駆けつけました。「初めての参加です。たくさんの仲間と一緒に作業できたことがうれしいですね」「これから花が咲いてコットンができ、畑が再生していくことと、人の気持の再生が同時に広がっていく感じがしました」(仙台空港に勤務する加藤はる美さん、横澤昌子さん)。皆さん、今後の作業にも参加したいと決意をあらたにしていました。

2012.05.19
さらに多くの収穫をめざして、
快晴の中、
今年の種まきの開始です。

2012.06.23
商品発表

東北コットン2%の糸を使用したタオル製品4アイテム各3色。ストール製品2アイテム各3色。東北コットン5%の糸を使用した、デニム製品はメンズ1アイテム、レディース2アイテム。ポロシャツはメンズ1アイテム、レディース1アイテムを展開。
www.tohokucotton.com/collection2012/

「東北コットンプロジェクト」のタオル・ストールを
7月13日よりJALショッピングでも
お買い求めいただけます。
www.shop.jal.co.jp/cotton/

JALは東北を
応援しています。

「東北コットンプロジェクト」の被災地でコットンを育て、商品化まで手がけようう」。そんな壮大な夢が、ようやく形になり始めました。昨年は初めての試みであり、がれきの片付け、手作業の種まきや草取り、台風による豪雨の影響などさまざまな出来事がありました。それでも関係者全員が力を合わせ、ようやくここに、東北のコットンを使った製品が生まれました。

「すべてが未知へのチャレンジでした。課題の一つひとつに、参加する皆さんと答を作り出していくことは、大変な苦労であり、作り出せたときは喜びでした」(東北コットンプロジェクト事務局「クルック」の江良慶介さん)。

今年出来あがった商品はタオル、ストール、デニム、ポロシャツの四種類です。タオルとストールを製造した天衣無縫(株式会社 新藤)の藤澤徹さんは、「生活者の皆さまに日常生活で使っていただける良質な製品を適正価格で提供、より多くの方にリピートされるようにしたいと考えました」と語ります。一方、デニムとポロシャツを製造したのはリージャパン。同社の細川秀和さんは、「今回の製品では東北コットンの混率は5%ですが、これをきっかけに若い世代に、メイドインジャパンの良さ、日本のものづくりのすばらしさを意識してほしいですね。そして次の収穫のときは、ぜひ、何割かでも東北コットン100%の製品を送り出したい」。

関係者の多くが語るのは、この挑戦を一過性のものとせず、継続し、「東北コットン」をブランドとして確立し、産地、事業として定着させることの大切さです。

その動きは今年も既に始まっています。5月19日、東北コットンプロジェクトでは種まきを行いました。作付面積を昨年の約5倍の8ヘクタールに拡大し、気温、時期もベストのタイミングで実施することができました。

プロジェクトの発起人の一人であり、コットン博士として知られる大正紡績の近藤健一さんは、空を見上げながら、こう語りました。

「生産者の方々の力量には感銘しました。今年は用意も万端、収穫が期待できますよ。ぜひ皆さん、花を観に来てください。この8ヘクタールに真っ白い綿花が咲けば、仙台空港を離着陸する飛行機からも見えるかも知れません」。

東北コットンプロジェクトにおけるJALグループの取り組みについては www.jal.com/ja/cotton/

綿の栽培、紡績、商品化、販売を参加各社が共同で展開し、農業から震災復興を目指す東北コットンプロジェクトは2011年に開始されました。被災地の農業生産組合・農業法人やアパレル関連企業の有志が集結して、種まきから草取り、収穫へと試行錯誤しながら、綿を育てて、ついに製品へ。そして今年、プロジェクトは新たな第一歩を踏み出します。

www.tohokucotton.com

2011.06.18

種まき

間引き&草取り

東北コットンプロジェクト 2011年度の軌跡

写真／中野幸英

花見の会

秋のワタ見会

棉摘み

NOTICE

「東北コットンプロジェクト」から生まれたタオル、ストールを、読者の皆さまにプレゼントいたします。詳しくはskyward 8月号をご覧ください。お楽しみに。

JAPAN AIRLINES